

2025^{ねんど}年度

講^{こう}議^ぎ概^{がい}要^{よう}

～目の前の人に寄り添ういちばんの存在へ

[国際介護学科]

目次

求められる介護福祉士像	1
カリキュラムの全体像	2
教育課程表	3
アドミッションポリシー・介護福祉学科基本方針	4

領域：人間と社会

領域の目的	5
人間の尊厳と自立	6
人間関係とコミュニケーション（基礎）	7
人間関係とコミュニケーション（応用マネジメント）	8
社会の理解	9
PC・タブレット活用技術（介護福祉編）	11
健康プロモーションEX	12
実践手話技能	13
福祉住環境	14

領域：介護

領域の目的	15
介護の基本Ⅰ（介護概論）	16
介護の基本Ⅱ（連携・協働）	18
介護の基本Ⅲ（自立支援）	20
コミュニケーション技術	22
生活支援技術Ⅰ（基礎・理論A）	24
生活支援技術Ⅱ（基礎・実践A）	26
生活支援技術Ⅲ（基礎・理論B）	28
生活支援技術Ⅳ（基礎・実践B）	30
生活支援技術Ⅴ（応用・実践A）	32
生活支援技術Ⅵ（応用・実践B）	34
介護過程Ⅰ（基礎）	36
介護過程Ⅱ（実践・応用）	38
介護総合演習Ⅰ（介護実習Ⅰ－1. 2）	40
介護総合演習Ⅱ（介護実習Ⅰ－3. Ⅱ）	42
実習基準Ⅰ（介護実習Ⅰ－1）（基礎①）	44
実習基準Ⅰ（介護実習Ⅰ－2）（基礎②）	45
実習基準Ⅰ（介護実習Ⅰ－3）（基礎実践）	46
実習基準Ⅱ（介護実習Ⅱ）（専門実践）	47

領域：こころとからだのしくみ

領域の目的	48
こころとからだのしくみⅠ（一般基礎）	49
こころとからだのしくみⅡ（形態別基礎）	51
発達と老化の理解	53
認知症の理解Ⅰ（基礎）	55
認知症の理解Ⅱ（専門）	56
障害の理解Ⅰ（基礎・専門A）	57
障害の理解Ⅱ（専門B）	58

領域：医療的ケア

医療的ケア（基礎）	59
医療的ケア（演習）	61

教育課程表

教育・社会福祉専門課程
国際介護学科(昼間1年制)

区分	授業科目		総授業 時間数	必修 選択 の別	1年	
	科目	授業形態			通年	週コマ数
専門	人間の尊厳と自立	講義	5	必修	5	1
	コミュニケーション技術	講義	20	必修	20	
	社会の理解Ⅰ	講義	5	必修	5	
	社会の理解Ⅱ	講義	30	必修	30	1
	介護の基本Ⅰ	講義	10	必修	10	1
	介護の基本Ⅱ	講義	20	必修	20	
	生活支援技術Ⅰ	講義・演習	30	必修	30	1
	生活支援技術Ⅱ	講義・演習	30	必修	30	1
	介護過程Ⅰ	講義・演習	20	必修	20	3
	介護過程Ⅱ	講義・演習	25	必修	25	
	介護過程Ⅲ	講義・演習	45	必修	45	
	発達と老化の理解Ⅰ	講義	10	必修	10	1
	発達と老化の理解Ⅱ	講義	20	必修	20	
	認知症の理解Ⅰ	講義・演習	10	必修	10	1
	認知症の理解Ⅱ	講義・演習	20	必修	20	
	障害の理解Ⅰ	講義	10	必修	10	1
	障害の理解Ⅱ	講義	20	必修	20	
	こころとからだのしくみⅠ	講義	30	必修	30	1
	こころとからだのしくみⅡ	講義	60	必修	60	2
医療的ケア	講義・演習	60	必修	60	2	
介護実習	実習	30	必修	30	1	
一般	情報活用	演習	15	必修	15	1
	接遇(マナー)	講義	15	必修	15	
	言葉と表現Ⅰ	講義	60	必修	60	2
	言葉と表現Ⅱ	講義	60	必修	60	2
	言葉と表現Ⅲ	講義	60	必修	60	2
	言葉と表現Ⅳ	講義	60	必修	60	2
	健康プロモEX	講義・演習	30	必修	30	1
合 計			810		810	27

アドミッションポリシー(本校が求める人物像)/学科基本方針

1. アドミッションポリシー(本校が求める人物像)

- (1) 本学園の建学の精神と「well-being」の追求に賛同する。
- (2) 「ありがとう」の言葉を大切に、人と向き合い社会貢献していきたいと考える。
- (3) 医療・福祉への強い関心と資格取得に対する意欲と覚悟を持ちコミュニケーション能力を高めようと努力できる。
- (4) 目の前の人に寄り添う「いちばんの存在」に向かって努力ができる。
- (5) 「地域」のなかで「何ができるか」を「じぶんごと」として考えることができる介護福祉士を目指す。

2. 学科基本方針

1. 目の前の人に寄り添う「いちばん」の存在になる
2. 介護福祉業界の中核として活躍できる介護職になる
3. 地域福祉に貢献できる介護職になる
4. 将来は介護福祉士になる

じゆぎょうがいよう 授業概要			
にんげんそんげんじりつ 人間の尊厳と自立	じゆぎょうしゆるい 授業の種類	じゆぎょうたんとうしゃ 授業担当者	じつむけいけんうむ 実務経験の有無
	こうぎ 講義	よしかわこさいとうたかし 吉川かな子・齊藤隆司	な 無
じゆぎょうかいすう 授業の回数 かい 3回	じかんすう 時間数 5	がくねんじき 学年・時期 ねんつうねん 1年・通年	ひつしゅうせんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
<p>じゆぎょうもくてき [授業の目的・ねらい] にんげんりかいきそそんげんほじじりつ 人間の理解を基礎として、尊厳の保持と自立について理解する</p> <p>じゆぎょうしゅうりょうたつせいかだいとうたつめくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)] そんげんほじじりつしえん 尊厳の保持、自立支援、ノーマライゼーション、 りようしゃ 利用者のプライバシー保護、 ほご 権利擁護、 かいごきほんてきりねん 介護の基本的な理念を理解している</p>			
<p>じゆぎょうにっぺいかくかい 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
かい 回	ないようひこう 内容・備考		
1	にんげんためんできりかひそんげんようごせつめい 人間の多面的理解と尊厳／用語の説明		
2	じりつしえん 自立の支援／用語の説明		
3	じんけんそんげん 人権と尊厳／用語の説明		
	たんいにていしけん 単位認定試験		
<p>しやう [使用テキスト・参考文献] かいごふくししじつむしゃけんしゅう ●介護福祉士実務者研修テキスト第1巻 かぶちゅうおうほうき (株)中央法規 たはいふしりょうとう その他、配布資料等</p>		<p>たんいにていほうほうおよ [単位認定の方法及び基準] たんいにていしけんかだい 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいどそうごうてきほんだん 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 てんちゅうてんいじょうかくとく 基準とする。</p>	

じゆぎょうがいよう 授業概要			
コミュニケーション ぎじゆつ 技術	じゆぎょうしゆるい 授業の種類		じゆぎょうたんどうしゃ 授業担当者
		こうぎ 講義	
じゆぎょうかいすう 授業の回数 かい 10回	じかんすう 時間数 20	がくねんじき 学年・時期 ねんつうねん 1年・通年	ひつしゅうせんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
じゆぎょうもくてき [授業の目的・ねらい] かいごげんば りようしゃ かぞく 介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション技術の理解 かいご ひつよう 介護におけるチームマネジメントに必要なコミュニケーションの理解			
じゆぎょうしゅうりょうじ たつせい かだい とうたつもくひよう [授業終了時の達成課題(到達目標)] ほんにん かぞく かんけい こうちく いしけつてい しえん 本人、家族との関係を構築し、意思決定を支援できる じようきようじようたい おう ぎほう せんたく かつよう 状況、状態に応じたコミュニケーション技法を選択し活用できる			
じゆぎょうにってい かかくかい ないよう じゆぎょうほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1	いぎ もくてき やくわり ようご せつめい コミュニケーションの意義、目的、役割/用語の説明		
2	かいご ようご せつめい 介護におけるコミュニケーション①/用語の説明		
3	かいご ぎじゆつ ようご せつめい 介護におけるコミュニケーション②技術/用語の説明		
4	かいご ぎじゆつ ようご せつめい 介護におけるコミュニケーション③技術/用語の説明		
5	かいご ぎじゆつ ようご せつめい 介護におけるコミュニケーション④技術/用語の説明		
6	かいごばめん りようしゃ かぞく ようご せつめい 介護場面における利用者、家族とのコミュニケーション①/用語の説明		
7	かいごばめん りようしゃ かぞく ようご せつめい 介護場面における利用者、家族とのコミュニケーション②/用語の説明		
8	かいごばめん りようしゃ かぞく ようご せつめい 介護場面における利用者、家族とのコミュニケーション③/用語の説明		
9	かいご ようご せつめい 介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション①/用語の説明		
10	かいご ようご せつめい 介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション②/用語の説明		
	たんいにていしけん 単位認定試験		
しよう きんこうぶんけん [使用テキスト・参考文献] かいご ふくし じつむしゃけんしゅう だい かん ●介護福祉士実務者研修テキスト第2巻 かぶ ちゅうおうほうき (株)中央法規 た はいふしりょう とう その他、配布資料等		たんいにてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準] たんいにていしけん かだい ほうほうおよ ぎじゆん 単位認定試験、課題レポートに加え、出席、授業 うたいど そうごうてき ほんだん てんちゅう てんいじょう かくとく ごうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。	

じゆぎょう がい よう 授 業 概 要			
しゃかい りかい 社会の理解 I	じゆぎょう しゆるい 授業の種類		じゆぎょうたんとうしゃ 授業担当者
		こう ぎ 講 義	よしかわ こ さいとう たかし 吉川かな子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美穂
じゆぎょう かいすう 授業の回数 かい 3回	じかん すう 時間数 5	がくねん じき 学年・時期 ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう せんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
じゆぎょう もくてき [授業の目的・ねらい] かいごほけんせいど りかい うなが 介護保険制度の理解を促す じゆぎょうしゅうりょうたせいかたい とうたつめくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)] かいごほけんせいど がいよう りかい 介護保険制度の概要を理解している かいごほけんせいど せんもんしよくやくわり りかい 介護保険制度における専門職の役割を理解している			
じゆぎょう にってい かくかい 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1	かいごほけんせいど そうせつ はいけい もくてき ようご せつめい 介護保険制度創設の背景と目的／用語の説明		
2	かいごほけんせいど きそてきりかい ようご せつめい 介護保険制度の基礎的理解／用語の説明		
3	かいごほけんせいど せんもんしよくやくわり ようご せつめい 介護保険制度における専門職の役割／用語の説明		
	たんい にんていしけん 単位認定試験		
しょう さんこうぶんけん [使用テキスト・参考文献] かいご ふくし じつむしゃ けんしゅう だい かん ●介護福祉士実務者研修テキスト第1巻 かぶ ちゅうおうほうき (株)中央法規 た はいふしりょう とう その他、配布資料等		たんい にんてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準] たんい にんていしけん かだい くわ しゅつけっせき じゆぎょう 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいど そうごうてき ほんだん てんちゅう てんじょう かくとく ごうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。	

授 業 概 要			
社 会 の 理 解 II	授 業 の 種 類		授 業 担 当 者
	講 義		吉 川 かな 子 ・ 齊 藤 隆 司 野 浪 美 穂
授 業 の 回 数	時 間 数	学 年 ・ 時 期	実 務 経 験 の 有 無
15回	30	1年・通年	無
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>介護実践に必要な諸制度に理解を深める 地域共生社会の実現に向けた制度や施策の理解を深める</p> <p>【授業終了時の達成課題(到達目標)】</p> <p>家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができる 介護実践に関連する諸制度の概要を理解している</p> <p>授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
回	内 容 ・ 備 考		
1	社会と生活のしくみ①／用語の説明		
2	社会と生活のしくみ②／用語の説明		
3	社会と生活のしくみ③／用語の説明		
4	地域共生社会の実現に向けた制度や施策／用語の説明		
5	社会保障制度①／用語の説明		
6	社会保障制度②／用語の説明		
7	社会保障制度③／用語の説明		
8	社会保障制度④／用語の説明		
9	障害者総合支援制度①／用語の説明		
10	障害者総合支援制度②／用語の説明		
11	介護実践にかかわる諸制度①／用語の説明		
12	介護実践にかかわる諸制度②／用語の説明		
13	まとめと復習		
14	まとめと復習		
15	まとめと復習		
単位認定試験			
<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>●介護福祉士実務者研修テキスト第1巻 (株)中央法規 その他、配布資料等</p>		<p>【単位認定の方法及び基準】</p> <p>単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業態度、最終考査を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格基準とする。</p>	

授 業 概 要			
かいご きほん 介護の基本 I	じゆぎょう しゆるい 授業の種類	じゆぎょうたんとうしゃ 授業担当者	じつむ けいけん うむ 実務経験の有無
	こう ぎ 講 義	よしかわ こ さいとう たかし 吉川かほ子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美穂	な 無
じゆぎょう かいすう 授業の回数 かい 5回	じかん すう 時間数 10	がくねん じき 学年・時期 ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう せんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
<p>じゆぎょう もくてき [授業の目的・ねらい]</p> <p>かいごしよく かいごふくしし かいご かんが かつ まな とくていぎのう かいご かつやく きばん やしな 介護職(介護福祉士)と介護の考え方を学び、特定技能介護として活躍するための基盤を養う</p> <p>じゆぎょうしゅうりようたつせいかだい どうたつもくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <p>かいごふくしし ふく かいごしよく やくわり りかい 介護福祉士を含む介護職の役割を理解している</p> <p>しよくぎあり かくしゆせいど りかい りんり じゆんしゆ 職業倫理、各種制度を理解し、倫理を遵守できる</p>			
<p>じゆぎょう についで かくかい ないよう じゆぎょうほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1	かいごしよく かいごふくしし かいご かんが かつ かいごふくしし やくわり きのう ようご せつめい 介護職(介護福祉士)と介護の考え方(介護福祉士の役割と機能)／用語の説明		
2	そんげん ほじ じりつ む きご かんが かつ てんかい ようご せつめい 尊厳の保持、自立に向けた季語の考え方と展開①／用語の説明		
	そんげん ほじ じりつ む きご かんが かつ てんかい ようご せつめい 尊厳の保持、自立に向けた季語の考え方と展開②／用語の説明		
	かいごしよく かいご ふくしし りんり ようご せつめい 介護職(介護福祉士)の倫理①／用語の説明		
3	かいごしよく かいごふくしし りんり ようご せつめい 介護職(介護福祉士)の倫理②／用語の説明		
	たんい にんていしけん 単位認定試験		
<p>しやう きんこう ぶんけん [使用テキスト・参考文献]</p> <p>●かいご ふくしし じつむしゃ けんしゅう だい かん ●介護福祉士実務者研修テキスト第2巻 かぶ ちゆうおうほうき (株)中央法規 た はいふりよう とう その他、配布資料等</p>		<p>たんい にんてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準]</p> <p>たんい にんていしけん かだい くわ しゆつけせき じゆぎょう 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいど そうごうてき ほんだん てんちゆう てんいじよう かくとく ごうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。</p>	

じゆぎょう がい よう 授 業 概 要			
かいご きほん 介護の基本Ⅱ	じゆぎょう しゆるい 授業の種類		じゆぎょう だんとしや 授業担当者
		こう ぎ 講 義	
じゆぎょう かいすう 授業の回数 10回	じかん すう 時間数 20	がくねん じき 学年・時期 ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう せんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
じゆぎょう もくてき [授業の目的・ねらい] かいご じっせん む りようしや せいかつりかい ふか 介護実践に向けた利用者への生活理解を深める かいご あんぜんかくほ りかい 介護における安全確保とリスクマネジメントを理解する			
じゆぎょう じゆうりようじ たつせい かいだい どうたつ もくひよう [授業終了時の達成課題(到達目標)] かいご ひつよう こうれいしや しやう しやとう せいかつ りかい 介護を必要とする高齢者や障がい者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握できる かいご かん あんぜんかくほ かいご じゆうしや けんこうかんにり どう かん ちしき りかい 介護に関する安全確保、介護従事者の健康管理等に関する知識を理解している			
じゆぎょう にってい かくかい ないよう じゆぎょう ほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1	かいご ひつよう ひと せいかつ りかい しえん ようご せつめい 介護を必要とする人の生活の理解と支援①/用語の説明		
2	かいご ひつよう ひと せいかつ りかい しえん ようご せつめい 介護を必要とする人の生活の理解と支援②/用語の説明		
3	かいご じっせん れんけい ようご せつめい 介護実践における連携/用語の説明		
4	かいご あんぜん かくほ ようご せつめい 介護における安全の確保とリスクマネジメント/用語の説明		
5	かいご じゆうしや あんぜん ようご せつめい 介護従事者の安全/用語の説明		
6	そうごう えんしゅう 総合演習		
7	そうごう えんしゅう 総合演習		
8	そうごう えんしゅう 総合演習		
9	そうごう えんしゅう 総合演習		
10	そうごう えんしゅう 総合演習		
	たんい にんてい しけん 単位認定試験		
しよう さんこうぶんけん [使用テキスト・参考文献] かいご ふくし じつむしや けんしゅう だい かん ● 介護福祉士実務者研修テキスト第2巻 かが ちゅうおうほうき (株)中央法規 た はいふしりよう とう その他、配布資料等		たんい にんてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準] たんい にんてい しけん かいだい かわ しゅつげつせき じゆぎょう 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいど そうごうてき はんたん てんちゅう てんいじよう かくとく ごうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。	

授 業 概 要			
せいけつしえんぎじゅつ 生活支援技術 I	じゅぎょう しゅるい 授業の種類	じゅぎょうたんどうしゃ 授業担当者	じつむけいけん うむ 実務経験の有無
	こう ぎ 講 義	よしかわ こ さいとう たかし 吉川かな子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美穂	な 無
じゅぎょう かいすう 授業の回数	じかん すう 時間数	かくねん じき 学年・時期	ひつしゅう せんたく 必修・選択
15かい 15回	30	ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう 必修
<p>じゅぎょう めくてき [授業の目的・ねらい] じりつ む せいけつしえんぎじゅつ じっし たため きほん りかい 自立に向けた生活支援技術を実施する為の基本を理解できる</p> <p>じゅぎょうしゅうりょうじ たっせいかにたい どうつもくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)] せいけつしえん しぎ わくく りかい 生活支援におけるICFの意義と枠組みを理解している ボディメカニクスをかつようしたかいご げんそく りかい じっし ボディアメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実施できる りようしや せいけつしえんぎじゅつ せいび してん りやういてん りかい 利用者の生活環境を整備する視点や留意点を理解している</p> <p>じゅぎょう (にっぺい) かくかい 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1	せいけつしえん 生活支援とアセスメント/用語の説明		
2	ICFのしてん 視点とアセスメント/用語の説明		
3	じゅうかんきよせいび ふくしやうぐ かつよう ようご せつめい 住環境の整備と福祉用具の活用/用語の説明		
4	いどう いじよう せいけつしえんぎじゅつ きほん ようご せつめい 移動・移乗の生活支援技術の基本①/用語の説明		
5	いどう いじよう せいけつしえんぎじゅつ きほん ようご せつめい 移動・移乗の生活支援技術の基本②/用語の説明		
6	いどう いじよう せいけつしえんぎじゅつ きほん ようご せつめい 移動・移乗の生活支援技術の基本③/用語の説明		
7	しょくじ せいけつしえんぎじゅつ きほん ようご せつめい 食事の生活支援技術の基本①/用語の説明		
8	しょくじ せいけつしえんぎじゅつ きほん ようご せつめい 食事の生活支援技術の基本②/用語の説明		
9	にゅうよくせいけつほじ せいけつしえんぎじゅつ きほん ようご せつめい 入浴・清潔保持の生活支援技術の基本①/用語の説明		
10	にゅうよくせいけつほじ せいけつしえんぎじゅつ きほん ようご せつめい 入浴・清潔保持の生活支援技術の基本②/用語の説明		
11	はいせつ せいけつしえんぎじゅつ きほん ようご せつめい 排泄の生活支援技術の基本①/用語の説明		
12	はいせつ せいけつしえんぎじゅつ きほん ようご せつめい 排泄の生活支援技術の基本②/用語の説明		
13	ちゃくだつせいや こうくうせいけつ せいけつしえんぎじゅつ きほん ようご せつめい 着脱・整容・口腔清潔の生活支援技術の基本/用語の説明		
14	かじ えんじょ きほん ようご せつめい 家事援助の基本①/用語の説明		
15	かじ えんじょ きほん ようご せつめい 家事援助の基本②/用語の説明		
	たんいにていしけん 単位認定試験		
<p>しよう さんこうぶんけん [使用テキスト・参考文献] かいご ふくし じつむしや けんしゅう たい かん ●介護福祉士実務者研修テキスト第2巻 かぶ ちゅうおうほうき (株)中央法規 た ばいしりやう とう その他、配布資料等</p>		<p>たんい にんてい (ほうほうあよ) せんじゅん [単位認定の方法及び基準] たんい にんていしけん かにい くわ しゅつげっせき じゅぎょう 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいど そうごうてき ほんだん てんちやう てんいじやうかくどく こうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 せんじゅん 基準とする。</p>	

授 業 概 要			
せいかつしえんぎじゆつ 生活支援技術Ⅱ	じゆぎやう しゆり 授業の種類		じゆぎやうたんとしや 授業担当者
	こう ぎ 講 義		よしかわ こ さいどう たかし 吉川かな子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美德
じゆぎやう かいすう 授業の回数 15回	じかん すう 時間数 30	がくねん じき 学年・時期 ねん つうねん 1年・通年	じつむ けいけん うむ 実務経験の有無 な 無
じゆぎやう ちやくてき [授業の目的・ねらい] じりつ む せいかつしえんぎじゆつ じしし たため きほん りかい 自立に向けた生活支援技術を実施する為の基本を理解できる じゆぎやうしゆりやうし たっせい かいだい どうたつ もくひやう [授業終了時の達成課題(到達目標)] せいかつしえん しぎ わく りかい 生活支援におけるICFの意義と枠組みを理解している ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実施できる りやうしや せいかつかんきやう せいび してん りやういてん りかい 利用者の生活環境を整備する視点や留意点を理解している			
じゆぎやう (にってい) かくかい ないやう じゆぎやうほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法			
かい 回	ないやう ひこう 内容・備考		
1	かんきやうせいび ふくしやうぐどう かつやう やうご せつめい 環境整備と福祉用具等の活用/用語の説明		
2	いどう いじやう せいかつしえんぎじゆつ たいいへんかん 移動・移乗の生活支援技術(体位変換①)		
3	いどう いじやう せいかつしえんぎじゆつ たいいへんかん 移動・移乗の生活支援技術(体位変換②)		
4	いどう いじやう せいかつしえんぎじゆつ くるま かいじよ 移動・移乗の生活支援技術(車いすの介助)		
5	いどう いじやう せいかつしえんぎじゆつ ほこう かいじよ 移動・移乗の生活支援技術(歩行の介助)		
6	いどう いじやう せいかつしえんぎじゆつ ふくしやう 移動・移乗の生活支援技術(復習)		
7	しょくじ せいかつしえんぎじゆつ 食事の生活支援技術		
8	にやうよくせいけつほじ せいかつしえんぎじゆつ 入浴・清潔保持の生活支援技術①		
9	にやうよくせいけつほじ せいかつしえんぎじゆつ 入浴・清潔保持の生活支援技術②		
10	はいせつ せいかつしえんぎじゆつ 排泄の生活支援技術①		
11	はいせつ せいかつしえんぎじゆつ 排泄の生活支援技術②		
12	ちゃくだつせいやう こうくうせいけつ せいかつしえんぎじゆつ 着脱、整容、口腔清潔の生活支援技術		
13	きやうそぐいみん せいかつしえんぎじゆつ 休息・睡眠の生活支援技術		
14	じんせい さいしやうだんかい かいご せいかつしえんぎじゆつ 人生の最終段階における介護の生活支援技術		
15	じつぎしやうとくやくにん 実技習得度確認テスト		
	たんいにていしけん 単位認定試験		
じやう さんこうぶんけん [使用テキスト・参考文献] ●介護福祉士実務者研修テキスト第2巻 (株)中央法規 その他、配布資料等		たんい にんてい ほうほうおよ きてん [単位認定の方法及び基準] たんい にんていしけん かいだい くだい しゅつげっせき じゆぎや 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいど そうちうてき ほんだん てんちやう てんしやう かくとく こうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 基準とする。	

じゆぎょう がい よう 授 業 概 要			
かいごかてい 介護過程 I	じゆぎょう しゆるい 授業の種類	じゆぎょうたんとうしゃ 授業担当者	じつむ けいけん うむ 実務経験の有無
		こう ぎ 講 義	よしかわ こ さいとう たかし 吉川かな子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美穂
じゆぎょう かいすう 授業の回数 かい 10回	じかん すう 時間数 20	がくねん じき 学年・時期 ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう せんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
<p>じゆぎょう もくてき [授業の目的・ねらい] かいご かてい きそてき りかい ふか 介護過程の基礎的理解を深める</p> <p>じゆぎょうえうりようじ たつせい かだい どうたつ もくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)] かいご かてい もくてき いぎ てんかいとう りかい 介護過程の目的、意義、展開等を理解している かいごかてい ふ もくひょう そ けいかくてき かいご おこな 介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行うことができる</p> <p>じゆぎょう について かくかい ないよう じゆぎょうほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1	かいごかてい いぎ もくてき ようご せつめい 介護過程の意義と目的/用語の説明		
2	かいごかてい てんかい ようご せつめい 介護過程の展開①/用語の説明		
3	かいごかてい てんかい ようご せつめい 介護過程の展開②/用語の説明		
4	かいごかてい てんかい ようご せつめい 介護過程の展開③/用語の説明		
5	かいごかてい てんかい ようご せつめい 介護過程の展開④/用語の説明		
6	かいごかてい てんかい ようご せつめい 介護過程の展開⑤/用語の説明		
7	かいごかてい てんかい ようご せつめい 介護過程の展開⑥/用語の説明		
8	かいごかてい てんかい ようご せつめい 介護過程の展開⑦/用語の説明		
9	かいごかてい ようご せつめい 介護過程とチームアプローチ①/用語の説明		
10	かいごかてい ようご せつめい 介護過程とチームアプローチ②/用語の説明		
	たんい にんてい しけん 単位認定試験		
しよう [使用テキスト・参考文献]	たんい にんてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準]		
● かいご ぶくし じつむしゃ けんしゅう たい かん ● 介護福祉士実務者研修テキスト第3巻	たんい にんてい しけん かだい 単位認定試験、課題		
かぶ ちゅうおうほうき (株)中央法規	くわ しゅつけっせき じゆぎょう に加え、出欠席、授業		
た はいふしりょう とう その他、配布資料等	うたいど そうごうてき ほんだん てんちゅう てんいじょう かくとく ごうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。		

授 業 概 要			
かいごかてい 介護過程Ⅱ	じゅぎょう しゅるい 授業の種類		じゅぎょうたんどうしゃ 授業担当者
	こう ぎ 講 義		よしかわ こ さいどう たかし 吉川かな子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美穂
じゅぎょう かいすう 授業の回数	じかん すう 時間数	かくねん しき 学年・時期	じつむ けいけん うむ 実務経験の有無
かい 15回	25	ねん つうねん 1年・通年	な 無
<p>じゅぎょう もくてき [授業の目的・ねらい] じれいせんしゅう 事例演習やグループワークをとおし、かいごかてい てんかいい しっさい りかい 介護過程の展開の実際を理解する</p> <p>じゅぎょうしゅうりょうじ たっせい かいだい どうたつもくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)] アセスメント、かいごけいかく りつあん かいご しっし ひょうか あこな アセスメント、介護計画の立案、介護の実施、評価を行うことができる</p> <p>じゅぎょう にってい かくかい 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
かい 回	ないよう ひこう 内容・備考		
1	かいごしよく かいごかてい すず かた ようご せつめい 介護職による介護過程の進め方①/用語の説明		
2	かいごしよく かいごかてい すず かた ようご せつめい 介護職による介護過程の進め方②/用語の説明		
3	かいごかてい じっせんてきてんかい ようご せつめい 介護過程の実践的展開/用語の説明		
4	じれいせんしゅう 事例演習・グループワーク		
5	じれいせんしゅう 事例演習・グループワーク		
6	じれいせんしゅう 事例演習・グループワーク		
7	じれいせんしゅう 事例演習・グループワーク		
8	じれいせんしゅう 事例演習・グループワーク		
9	じれいせんしゅう 事例演習・グループワーク		
10	じれいせんしゅう 事例演習・グループワーク		
11	じれいせんしゅう 事例演習・グループワーク		
12	じれいせんしゅう 事例演習・グループワーク		
13	じれいせんしゅう 事例演習・グループワーク		
14	じれいせんしゅう 事例演習・グループワーク		
15	じれいせんしゅう 事例演習・グループワーク		
	たんい にんてい しけん 単位認定試験		
<p>しやう さんこうぶんけん [使用テキスト・参考文献] かいご ぶくし じつむしゃ けんしゅう たい かん ●介護福祉士実務者研修テキスト第2巻 かぶ ちゅうおうほうき (株)中央法規 その他、配布資料等</p>		<p>たんい にんてい (ほうほうおよ せいじゆん) [単位認定の方法及び基準] たんい にんてい しけん かいだい くわ しゅつげっせき じゅぎょう 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいと そうごうてき ほんだん てんちゅう てんいじやう かくとく こうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。</p>	

じゆぎょう かいよう 授 業 概 要			
かいごかてい 介護過程Ⅲ	じゆぎょう しゆるい 授業の種類	じゆぎょうたんどうしゃ 授業担当者	じつむ けいけん うむ 実務経験の有無
		こう ぎ 講 義	よしかわ こ さいとう たかし 吉川かな子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美穂
じゆぎょう かいすう 授業の回数 かかん 5日間	じかん すう 時間数 45	がくねん じき 学年・時期 ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう せんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
<p>じゆぎょう もくてき [授業の目的・ねらい] ちしき ぎじゆつ とうごう かいごかてい てんかい りようしゃ とくせい おう かいご ていきよう のうりよく やしな 知識・技術を統合し、介護過程を展開して利用者の特性に応じた介護が提供できる能力を養う</p> <p>じゆぎょうしゅうりょうじ たつせい かいだい とうたつもくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)] ちしき ぎじゆつ とうごう かいごかてい てんかい 知識・技術を統合し、介護過程が展開できる</p> <p>じゆぎょう について かくかい ないよう じゆぎょうほうほう 授業の 日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1日目	かいごかてい きそちしき おうよう 介護過程の基礎知識と応用		
	かいごかてい てんかい じっさい 介護過程の展開の実際		
	かいごぎじゆつ げんりげんそく しゅうとくじっせん 介護技術の原理原則の修得・実践		
2日目 ～ 4日目	かいごかてい てんかい じっさい 介護過程の展開の実際		
	かいごぎじゆつ げんりげんそく しゅうとくじっせん 介護技術の原理原則の修得・実践		
5日目	じれいえんしゅう 事例演習・ロールプレイ		
	ふ かん 振り返り		
	じれいえんしゅう 事例演習・ロールプレイ		
5日目	かいごぎじゆつ ひょうか じつぎしけん 介護技術の評価(実技試験)		
	ちしきとうしゅうとくど ひょうか じつぎしけん 知識等習得度の評価(実技試験)		
しよう きんこう ぶんけん [使用テキスト・参考文献] ● かいご ふくしし じつむしゃ けんしゅう だい かん ● 介護福祉士実務者研修テキスト第3巻 かぶ ちゅうおうほうき (株)中央法規 た はいふしりょう とう その他、配布資料等		たんに にんてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準] じつぎ しけん かいだい ぐわ しゅつげつせき じゆぎょうたいど 実技試験、課題レポートに加え、出欠席、授業態度を そうごうてき ほんだん てんちゅう てんいじよう かくとく ごうかくきじゆん 総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格基準と する。	

授 業 概 要			
はったつ ろうか りかい 発達と老化の理解 I	じゆぎょう しゆるい 授業の種類		じゆぎょうたんとうしゃ 授業担当者
		こう ぎ 講 義	
じゆぎょう かいすう 授業の回数 かい 5回	じかん すう 時間数 10	がくねん じき 学年・時期 ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう せんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
じゆぎょう もくてき [授業の目的・ねらい] ろうか ともな しんりてきへんか しんたいきのう へんか とくちよう にちじようせいかつ えいきよう かん りかい ふか 老化に伴う心理的変化、身体機能の変化の特徴と日常生活への影響に関する理解を深める			
じゆぎょうしゆうりようじ たつせい かいだい どうたつともくひよう [授業終了時の達成課題(到達目標)] ろうか ともな しんりてき へんか とくちよう にちじようせいかつ えいきよう りかい 老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している ろうか ともな しんたいきのう へんか とくちよう にちじようせいかつ えいきよう りかい 老化に伴う身体機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している			
じゆぎょう についで かくかい ないよう じゆぎょうほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1	へんか にちじよせいかつ えいきよう ようご せつめい こころの変化と日常生活への影響①/用語の説明		
2	へんか にちじよせいかつ えいきよう ようご せつめい こころの変化と日常生活への影響②/用語の説明		
3	へんか にちじよせいかつ えいきよう からだの変化と日常生活への影響①/用語の説明		
4	へんか にちじよせいかつ えいきよう からだの変化と日常生活への影響②/用語の説明		
5	ふくしゅう 復習		
	たんい にんてい しけん 単位認定試験		
しよう さんこう ぶんけん [使用テキスト・参考文献] かいご ふくし じつむしゃ けんしゅう だい かん ●介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 かぶ ちゆうおうほうき (株)中央法規 た はいふしりよう とう その他、配布資料等		たんい にんてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準] たんい にんてい しけん かいだい くわ しゅつげつせき じゆぎょう 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいど そうごうてき ほんだん てんちゅう てんいじよう かくとく ごうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。	

じゆぎょうがいよう 授業概要			
はつたつ ろうか りかい 発達と老化の理解Ⅱ	じゆぎょう しゆるい 授業の種類		じゆぎょうたんとうしや 授業担当者
		こうぎ 講義	よしかわ こさいとう たかし 吉川かな子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美穂
じゆぎょう かいすう 授業の回数 かい 10回	じかん すう 時間数 20	がくねん じき 学年・時期 ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう せんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
じゆぎょう もくてき [授業の目的・ねらい] ろうか ともな しんりてきへんか しんたいきのう へんか とくちよう にちじようせいかつ えいきよう かん りかい ふか 老化に伴う心理的変化、身体機能の変化の特徴と日常生活への影響に関する理解を深める じゆぎょうえゆうりようじ たつせい かだい とうたつ もくひよう [授業終了時の達成課題(到達目標)] はつたつ ていぎ はつたつだんかい はつたつかだい りかい 発達の定義、発達段階、発達課題について理解している ろうねんき はつたつかだい しんりてきかだい しえん りゆういてん りかい 老年期の発達課題、心理的課題と支援の留意点を理解している こうれいしや おお しょうじよう しつぺいとう しえん りゆういてん りかい 高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解している じゆぎょう について かくかい ないよう じゆぎょうほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1	はつたつ ていぎ ようご せつめい 発達の定義／用語の説明		
2	はつたつだんかい はつたつかだい ようご せつめい 発達段階と発達課題／用語の説明		
3	かく はつたつ ようご せつめい 各ライフサイクルの発達／用語の説明		
4	ろうねんき ていぎ 老年期の定義／用語の説明		
5	ろうねんき しんりてきかだい てきおう 老年期の心理的課題と適応／用語の説明		
6	ようかいごじょうたい こうれいしや しんり 要介護状態と高齢者の心理／用語の説明		
7	ふてきおうじょうたい かんわ しんり ようご せつめい 不適応状態を緩和する心理／用語の説明		
8	こうれいしや おお み しょうじようたつた りゆういてん ようご せつめい 高齢者に多く見られる症状・訴えとその留意点／用語の説明		
9	かいご よう こうれいしや びょうき びょうたい ようご せつめい 介護を要する高齢者によくみられる病気・病態／用語の説明		
10	ふくしゅう 復習		
	たんい にんてい しけん 単位認定試験		
しよう さんこうぶんけん [使用テキスト・参考文献] かいご ふくし じつむしや けんしゅう たい かん ●介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 かぶ ちゆうおうほうき (株)中央法規 た はいふしりよう とう その他、配布資料等		たんい にんてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準] たんい にんてい しけん かだい くわ しゅつげつせき じゆぎょう 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいど そうごうてき はんたん てんちゆう てんいじよう かくとく ごうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。	

授 業 概 要																	
にんちしょう 理解 認知症の理解 I	じゆぎょう しゆるい 授業の種類		じゆぎょうたんとうしゃ 授業担当者														
		こう ぎ 講 義	よしかわ こ さいとう たかし 吉川かな子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美穂	じつむ けいけん うむ 実務経験の有無 な 無													
じゆぎょう かいすう 授業の回数 かい 5回	じかん すう 時間数 10	がくねん じき 学年・時期 ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう せんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修														
<p>じゆぎょう もくてき [授業の目的・ねらい] にんちしょう かん きほんてき りかい ふか 認知症ケアに関する基本的理解を深める</p> <p>じゆぎょうしゅうりょうじ たっせい かいだい どうたつもくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)] にんちしょう りねん りかい 認知症ケアの理念を理解している にんちしょう せいかつしょうが いしんり こうどう とくちょう りかい 認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している にんちしょう ひと かぞく たい しかた しえん きほん りかい 認知症の人や家族に対するかかわり方・支援の基本を理解している</p> <p>じゆぎょう についで かくかい ないよう じゆぎょうほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>かい 回</th> <th>ないよう びこう 内容・備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>にんちしょう りねん してん ようご せつめい 認知症ケアの理念と視点／用語の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>にんちしょう せいかつしょうが いしんり こうどう とくちょう ようご せつめい 認知症による生活障害、心理・行動の特徴①／用語の説明</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>にんちしょう せいかつしょうが いしんり こうどう とくちょう ようご せつめい 認知症による生活障害、心理・行動の特徴②／用語の説明</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>にんちしょう ひと かぞく 認知症の人や家族へのかかわり</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>にんちしょう ひと かぞく しえん きほん 認知症の人や家族への支援の基本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>たんい にんてい しけん 単位認定試験</td> </tr> </tbody> </table>				かい 回	ないよう びこう 内容・備考	1	にんちしょう りねん してん ようご せつめい 認知症ケアの理念と視点／用語の説明	2	にんちしょう せいかつしょうが いしんり こうどう とくちょう ようご せつめい 認知症による生活障害、心理・行動の特徴①／用語の説明	3	にんちしょう せいかつしょうが いしんり こうどう とくちょう ようご せつめい 認知症による生活障害、心理・行動の特徴②／用語の説明	4	にんちしょう ひと かぞく 認知症の人や家族へのかかわり	5	にんちしょう ひと かぞく しえん きほん 認知症の人や家族への支援の基本		たんい にんてい しけん 単位認定試験
かい 回	ないよう びこう 内容・備考																
1	にんちしょう りねん してん ようご せつめい 認知症ケアの理念と視点／用語の説明																
2	にんちしょう せいかつしょうが いしんり こうどう とくちょう ようご せつめい 認知症による生活障害、心理・行動の特徴①／用語の説明																
3	にんちしょう せいかつしょうが いしんり こうどう とくちょう ようご せつめい 認知症による生活障害、心理・行動の特徴②／用語の説明																
4	にんちしょう ひと かぞく 認知症の人や家族へのかかわり																
5	にんちしょう ひと かぞく しえん きほん 認知症の人や家族への支援の基本																
	たんい にんてい しけん 単位認定試験																
<p>しょう さんこうぶんけん [使用テキスト・参考文献] かいご ふくし じつむしゃ けんしゅう だい かん ●介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 かぶ ちゅうおうほうき (株)中央法規 た はいふしりょう とう その他、配布資料等</p>		<p>たんい にんてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準] たんい にんてい しけん かいだい くわ しゅつげっせき じゆぎょう 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいど そうごうてき ほんだん てんちゅう てんいじょう かくとく こうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。</p>															

授 業 概 要			
にんちしょう りかい 認知症の理解Ⅱ	じゆぎょう しゆるい 授業の種類		じつむ けいけん うむ 実務経験の有無
	こう ぎ 講 義		な 無
じゆぎょう かいすう 授業の回数	じかん すう 時間数	がくねん じき 学年・時期	ひつしゅう せんたく 必修・選択
かい 10回	20	ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう 必修
<p>じゆぎょう もくてき [授業の目的・ねらい]</p> <p>いがくてきそくめん み にんちしょう りかい にんちしょう ひと しえん じっさい りかい ふか 医学的側面から見た認知症の理解と認知症の人への支援の実際について理解を深める</p> <p>じゆぎょうしゅうりょうじ たつせい かだい どうたつもくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <p>にんちしょう いがくてきりかい しえん じっさい りかい しえん かつよう 認知症の医学的理解と支援の実際を理解し、支援に活用できる</p> <p>じゆぎょう について かくかい ないよう じゆぎょうほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1	にんちしょう にんちしょう しんだん ようご せつめい 認知症とは・認知症の診断/用語の説明		
2	にんちしょう げんいんしっかん びょうたい ようご せつめい 認知症の原因疾患とその病態①/用語の説明		
3	にんちしょう げんいんしっかん びょうたい ようご せつめい 認知症の原因疾患とその病態②/用語の説明		
4	にんちしょう ちりょう よぼう ようご せつめい 認知症の治療と予防/用語の説明		
5	にんちしょう ようご せつめい 認知症のアセスメント/用語の説明		
6	ちゅうかくしょうじょう かた じっさい ようご せつめい 中核症状へのかかわり方の実際/用語の説明		
7	にんちしょう こうどう しんりしょうじょう かた じっさい ようご せつめい BPSD(認知症の行動・心理症状)へのかかわり方の実際/用語の説明		
8	にんちしょう ひと さまざま ようご せつめい チームアプローチ・認知症の人への様々なアプローチ/用語の説明		
9	ちいませいかつ しえん 地域生活の支援		
10	ふくしゅう 復習		
	たんいにていしけん 単位認定試験		
しよう さんこうぶんけん [使用テキスト・参考文献] ● かいご 福祉士 じつむしゃ けんしゅう たい かん 介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 かぶ ちゅうおうほうき (株)中央法規 た はいふしりょう とう その他、配布資料等		たんいにてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準] たんいにていしけん かだい くわ しゅつげつせき じゆぎょう 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいど そうごうてき ほんだん てんちゅう てんいじょう かくとく ごうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。	

じゆぎょう がい よう 授 業 概 要			
しょうがい りかい 障害の理解 I	じゆぎょう しゆるい 授業の種類	じゆぎょうたんとうしゃ 授業担当者	じつむ けいけん うむ 実務経験の有無
		こう ぎ 講 義	よしかわ こ さいとう たかし 吉川かほ子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美穂
じゆぎょう かいすう 授業の回数 かい 5回	じかん すう 時間数 10	がくねん じき 学年・時期 ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう せんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
<p>じゆぎょう もくてき [授業の目的・ねらい] しょうがい きそてき りかい ふか 障害の基礎的理解を深める</p> <p>じゆぎょうしゅうりょうじ たっせい かいだい どうたつもくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)] しょうがいしゃ ふくし りねん りかい 障害者福祉の理念を理解している しょうがい せいかつじょう しょうがい しんり こうどう とくちょう りかい 障害による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している しょうがい ひと かぞく たい 障害のある人や家族に対するかかわり方・支援の基本を理解している</p> <p>じゆぎょう についでい かくかい ないよう じゆぎょうほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1	しょうがいしふくし りねん ようご せつめい 障害者福祉の理念／用語の説明		
2	しょうがい せいかつしょうがい しんり こうどう とくちょう ようご せつめい 障害による生活障害、心理、行動の特徴①／用語の説明		
3	しょうがい せいかつしょうがい しんり こうどう とくちょう ようご せつめい 障害による生活障害、心理、行動の特徴②／用語の説明		
4	しょうがい ひと かぞく しえん きほん 障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本		
5	ふくしゅう 復習		
	たんい にんてい しけん 単位認定試験		
しょう [使用テキスト・参考文献] かいご ふくしし じつむしゃ けんしゅう だい かん ●介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 かぶ ちゅうおうほうき (株)中央法規 た はいふしりょう とう その他、配布資料等		たんい にんてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準] たんい にんてい しけん かいだい くわ しゅつげつせき じゆぎょう 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいど そうごうてき ほんだん てんちゅう てんいじょう かくとく こうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。	

じゆぎょう がい よう 授 業 概 要			
しょうがい りかい 障害の理解Ⅱ	じゆぎょう しゆるい 授業の種類		じゆぎょう だんとうしや 授業担当者
		こう ぎ 講 義	
じゆぎょう かいすう 授業の回数 かい 10回	じかん すう 時間数 20	がくねん じき 学年・時期 ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう せんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
<p>じゆぎょう もくてき [授業の目的・ねらい] いがくてきそくめん み しょうがい りかい しょうがい とくせい おう しえん じっさい りかい ふか 医学的側面から見た障害の理解や障害の特性に応じた支援の実際について理解を深める</p> <p>じゆぎょう じゆうりょうじ たつせい かだい どうたつ もくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)] いがくてきそくめん み しょうがい ちしき しゅうとく 医学的側面から見た障害の知識を習得している じょうきょう あ しえん りかい 状況に合わせた支援が理解できている</p> <p>じゆぎょう にっぺい かかくい ないよう じゆぎょう ほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1	にんちしょう にんちしょう しんだん ようご せつめい 認知症とは・認知症の診断／用語の説明		
2	にんちしょう げんいんしっかん びょうたい ようご せつめい 認知症の原因疾患とその病態①／用語の説明		
3	にんちしょう げんいんしっかん びょうたい ようご せつめい 認知症の原因疾患とその病態②／用語の説明		
4	にんちしょう ちりょう まぼう ようご せつめい 認知症の治療と予防／用語の説明		
5	にんちしょう ようご せつめい 認知症のアセスメント／用語の説明		
6	ちゅうかくしょうじょう かた じっさい ようご せつめい 中核症状へのかかわり方の実際／用語の説明		
7	にんちしょう こうどう しんりしょうじょう かた じっさい ようご せつめい BPSD(認知症の行動・心理症状)へのかかわり方の実際／用語の説明		
8	にんちしょう ひと さまざま ようご せつめい チームアプローチ・認知症の人への様々なアプローチ／用語の説明		
9	ちいきせいかつ しえん 地域生活の支援		
10	ふくしゅう 復習		
	たんい にんてい しけん 単位認定試験		
しょう さんこうぶんけん [使用テキスト・参考文献] ●かいご 福祉士 じつむしゃ けんしゅう たい かん 介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 かぶ ちゅうおうほうき (株)中央法規 た はいふしりょう とう その他、配布資料等		たんい にんてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準] たんい にんてい しけん かだい くわ しゅつげつせき じゆぎょう 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいど そうごうてき ほんだん てんちゅう てんいじょう かくとく ごうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。	

授 業 概 要			
こころとからだのしくみ	授業の種類	授業担当者	実務経験の有無
I	講 義	吉川かな子・齊藤隆司 野浪美穂	無
授業の回数 15回	時間数 30	学年・時期 1年・通年	必修・選択 必修
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>介護に関連するからだのしくみに対する理解を深める</p> <p>授業終了時の達成課題(到達目標)</p> <p>介護に関連した身体の構造や機能に関する基本的な知識を修得している</p> <p>授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
回	内容・備考		
1	移動・移乗に関連するからだのしくみ②/用語の説明		
2	移動・移乗に関連するからだのしくみ②/用語の説明		
3	食事に関連するからだのしくみ①/用語の説明		
4	食事に関連するからだのしくみ②/用語の説明		
5	入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ①/用語の説明		
6	入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ②/用語の説明		
7	排泄に関連するからだのしくみ①/用語の説明		
8	排泄に関連するからだのしくみ②/用語の説明		
9	着脱・整容・口腔清潔に関連するからだのしくみ①/用語の説明		
10	着脱・整容・口腔清潔に関連するからだのしくみ②/用語の説明		
11	休息・睡眠に関連するからだのしくみ①/用語の説明		
12	休息・睡眠に関連するからだのしくみ②/用語の説明		
13	着脱・整容・口腔清潔の生活支援技術の基本/用語の説明		
14	復習①		
15	復習②		
単位認定試験			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>●介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 (株)中央法規 その他、配布資料等</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格基準とする。</p>	

授 業 概 要			
こころとからだのしくみⅡ	授業の種類	授業担当者	実務経験の有無
	講 義	吉川かな子・齊藤隆司 ・野浪美穂	無
授業の回数	時間数	学年・時期	必修・選択
30回	60	1年・通年	必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>心身の構造・機能と介護における観察のポイントについて理解を深める</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <p>心身の構造・機能と介護における観察のポイントについて理解し、観察、アセスメント、関連する職種との連携が行える</p> <p>授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
回	内容・備考		
1	人間の心理／用語の説明		
2	人体の構造と機能①／用語の説明		
3	人体の構造と機能②／用語の説明		
4	食事に関連するからだのしくみ②／用語の説明		
5	移動・移乗における観察のポイント①／用語の説明		
6	移動・移乗における観察のポイント②／用語の説明		
7	食事における観察のポイント①／用語の説明		
8	食事における観察のポイント②／用語の説明		
9	入浴・清潔保持における観察のポイント①／用語の説明		
10	入浴・清潔保持における観察のポイント②／用語の説明		
11	前半のまとめ		
12	復習①		
13	復習②		
14	復習③		
15	理解度確認テスト①・解説		
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>●介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 (株)中央法規 その他、配布資料等</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格基準とする。</p>	

授 業 概 要			
こころとからだのしくみ II	授業の種類	授業担当者	実務経験の有無
	講 義	吉川かな子・齊藤隆司 ・野浪美穂	無
授業の回数 30回	時間数 60	学年・時期 1年・通年	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい] 心身の構造・機能と介護における観察のポイントについて理解を深める</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)] 心身の構造・機能と介護における観察のポイントについて理解し、観察、アセスメント、関連する職種との連携が行える</p> <p>授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
回	内容・備考		
16	排泄における観察のポイント①/用語の説明		
17	排泄における観察のポイント②/用語の説明		
18	着脱・整容・口腔清潔における観察のポイント①/用語の説明		
19	着脱・整容・口腔清潔における観察のポイント②/用語の説明		
20	休息における観察のポイント①/用語の説明		
21	休息・睡眠における観察のポイント②/用語の説明		
22	人生の最終段階のケアにおける観察のポイント①/用語の説明		
23	人生の最終段階のケアにおける観察のポイント②/用語の説明		
24	医療職との連携のポイント①/用語の説明		
25	医療職との連携のポイント②/用語の説明		
26	後半のまとめ		
27	復習④		
28	復習⑤		
29	復習⑥		
30	理解度確認テスト②・解説		
	単位認定試験		
<p>[使用テキスト・参考文献] ●介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 (株)中央法規 その他、配布資料等</p>		<p>[単位認定の方法及び基準] 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格基準とする。</p>	

じゆぎょうがいよう 授業概要			
かいごじしゅう 介護実習	じゆぎょうしゆるい 授業の種類		じゆぎょうたんとうしゃ 授業担当者
	こうぎ 講義		よしかわ こ さいとう たかし 吉川かな子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美穂
じゆぎょうかいすう 授業の回数 にちかん 5日間	じかんすう 時間数 30	がくねんじき 学年・時期 ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅうせんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
じゆぎょうもくてき [授業の目的・ねらい] かいごげんば じっさい し りようしゃ しよくいん 介護現場の実際を知り、利用者、職員とのコミュニケーションを体験する また、そつぎょうご はたら かくとく また、卒業後に働くイメージを獲得する じゆぎょうしゅうりょうじ たつせい かだい とうたつもくひよう [授業終了時の達成課題(到達目標)] がくないがくしゅう かいごげんば じっさい とうごう けいけん 学内学習と介護現場の実際を統合できる経験ができる			
じゆぎょうにってい かくかい 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法			
かい 回	ないよう びごう 内容・備考		
1	じっしゅう 実習オリエンテーション		
2	しせつ りかい 施設の理解・コミュニケーションの実践 じっせん		
3	しせつ りかい 施設の理解・コミュニケーションの実践 じっせん		
4	かいごばめん けんがく 介護場面の見学		
5	かいごばめん たいけん 介護場面の体験		
6			
7			
8			
9			
10			
しよう [使用テキスト・参考文献] はいふしりよう とう ●配布資料等 とくべつようごろうじん 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知 う たいおうがたきょうどうせい かつかいご 症対応型共同生活介護ほか		たんい にんてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準] しゅつかけせき じっしゅうたいど そうごうてき はんたん てんちゅう てんいじよ 出欠席、実習態度を総合的に判断。100点中60点以 上獲得を合格基準とする。	

授 業 概 要																																																																																				
医療的ケア	授業の種類		授業担当者	実務経験の有無																																																																																
	講 義		藤本明子	無																																																																																
授業の回数 30回	時間数 60	学年・時期 1年・通年	必修・選択 必修																																																																																	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支える観点から、医療職との連携のもと医療的ケアを安全・適切に実施できるよう必要な知識・技術を習得する。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引の技術習得に必要な知識が身につく ・経管栄養の技術習得に必要な知識が身につく ・喀痰吸引・経管栄養の具体的な手技の知識が身につく 																																																																																				
<p>授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容・備考</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>医療的ケア実施の基礎①</td> <td>16</td> <td colspan="2">口腔内喀痰吸引の手順の実際</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>医療的ケア実施の基礎②</td> <td>17</td> <td colspan="2">復習</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>医療的ケア実施の基礎③</td> <td>18</td> <td colspan="2">鼻腔内喀痰吸引の手順の実際</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>喀痰吸引の基礎知識①</td> <td>19</td> <td colspan="2">復習</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>喀痰吸引の基礎知識②</td> <td>20</td> <td colspan="2">気管カニューレ内部喀痰吸引の手順の実際</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>喀痰吸引の基礎知識③</td> <td>21</td> <td colspan="2">復習</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>高齢者および障害者・児の喀痰吸引実施手順①</td> <td>22</td> <td colspan="2">喀痰吸引演習評価</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>高齢者および障害者・児の喀痰吸引実施手順②</td> <td>23</td> <td colspan="2">復習</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>高齢者および障害者・児の喀痰吸引実施手順③</td> <td>24</td> <td colspan="2">胃ろう経管栄養の手順の実際</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>医療的ケア実施の基礎</td> <td>25</td> <td colspan="2">復習</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>経管栄養の基礎知識</td> <td>26</td> <td colspan="2">鼻腔経管栄養の手順の実際</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>障害児・者の経管栄養の実施手順</td> <td>27</td> <td colspan="2">復習</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>喀痰吸引の手技の理解</td> <td>28</td> <td colspan="2">経管栄養演習評価</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>経管栄養の手技の理解</td> <td>29</td> <td colspan="2">復習</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>ふりかえり</td> <td>30</td> <td colspan="2">救急蘇生法演習・まとめ</td> </tr> </tbody> </table>					回	内容・備考				1	医療的ケア実施の基礎①	16	口腔内喀痰吸引の手順の実際		2	医療的ケア実施の基礎②	17	復習		3	医療的ケア実施の基礎③	18	鼻腔内喀痰吸引の手順の実際		4	喀痰吸引の基礎知識①	19	復習		5	喀痰吸引の基礎知識②	20	気管カニューレ内部喀痰吸引の手順の実際		6	喀痰吸引の基礎知識③	21	復習		7	高齢者および障害者・児の喀痰吸引実施手順①	22	喀痰吸引演習評価		8	高齢者および障害者・児の喀痰吸引実施手順②	23	復習		9	高齢者および障害者・児の喀痰吸引実施手順③	24	胃ろう経管栄養の手順の実際		10	医療的ケア実施の基礎	25	復習		11	経管栄養の基礎知識	26	鼻腔経管栄養の手順の実際		12	障害児・者の経管栄養の実施手順	27	復習		13	喀痰吸引の手技の理解	28	経管栄養演習評価		14	経管栄養の手技の理解	29	復習		15	ふりかえり	30	救急蘇生法演習・まとめ	
回	内容・備考																																																																																			
1	医療的ケア実施の基礎①	16	口腔内喀痰吸引の手順の実際																																																																																	
2	医療的ケア実施の基礎②	17	復習																																																																																	
3	医療的ケア実施の基礎③	18	鼻腔内喀痰吸引の手順の実際																																																																																	
4	喀痰吸引の基礎知識①	19	復習																																																																																	
5	喀痰吸引の基礎知識②	20	気管カニューレ内部喀痰吸引の手順の実際																																																																																	
6	喀痰吸引の基礎知識③	21	復習																																																																																	
7	高齢者および障害者・児の喀痰吸引実施手順①	22	喀痰吸引演習評価																																																																																	
8	高齢者および障害者・児の喀痰吸引実施手順②	23	復習																																																																																	
9	高齢者および障害者・児の喀痰吸引実施手順③	24	胃ろう経管栄養の手順の実際																																																																																	
10	医療的ケア実施の基礎	25	復習																																																																																	
11	経管栄養の基礎知識	26	鼻腔経管栄養の手順の実際																																																																																	
12	障害児・者の経管栄養の実施手順	27	復習																																																																																	
13	喀痰吸引の手技の理解	28	経管栄養演習評価																																																																																	
14	経管栄養の手技の理解	29	復習																																																																																	
15	ふりかえり	30	救急蘇生法演習・まとめ																																																																																	
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>●介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 (株)中央法規 その他、配布資料等</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格基準とする。</p>																																																																																		

じゆぎょうがいよう 授業概要			
じょうほうかつよう 情報活用	じゆぎょうしゆるい 授業の種類		じゆぎょうたんとうしゃ 授業担当者
	こうぎ 講義		よしかわ こ さいとう たかし 吉川かな子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美穂
じゆぎょうかいすう 授業の回数	じかんすう 時間数	がくねんじき 学年・時期	じつむけいけんうむ 実務経験の有無
かい 8回	15	がくねんじき 1年・通年	ひつしゅうせんたく 必修・選択 ひつしゅう 必修
<p>じゆぎょうもくてき [授業の目的・ねらい] かいごしよくもと ぶんしよさくせい ひょう さくせい かいごげんば じっせん ちしき ぎのう しゅうとく 介護職に求められる文書作成や表の作成など、介護現場で実践できる知識や技能を修得する</p> <p>じゆぎょうしゅうりょうじ たっせい かだい どうたつもくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)] かくたんまつもち ぶんしよさくせい ひょうけいさん どう きほんそうさ 各端末を用いた文書作成、表計算、プレゼンテーション等の基本操作ができる</p> <p>じゆぎょうについて かくかい ないよう じゆぎょうほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p>			
かい 回	ないよう びこう 内容・備考		
1	オリエンテーション(パソコン室の利用他)		
2	でんし 電子メールの基礎・各種アカウント作成		
3	ワープロの基礎1		
4	ワープロの基礎2		
5	タブレット活用技術		
6	ひょうけいさん 表計算の基礎		
7	プレゼンテーション		
8	プレゼンテーション		
しょう 使用テキスト・参考文献 はいふしりょう どう ●配布資料等		たんにんてい ほうほうおよ 基準 [単位認定の方法及び基準] たんにんていしけん かだい くにわ しゅつけつせき じゆぎょう 単位認定試験、課題レポートに加え、出欠席、授業 うたいど そうごうてき ほんだん てんちゅう てんじょう かくとく こうかく 態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格 きじゆん 基準とする。	

授 業 概 要																					
せつぐう 接遇(マナー)	じゅぎょう しゅるい 授業の種類	じゅぎょうたんとうしゃ 授業担当者	じつむ けいけん うむ 実務経験の有無																		
		こう ぎ 講 義	よしかわ こ さいとう たかし 吉川か ^な 子・齊藤隆司 のなみ みほ ・野浪美穂	な 無																	
じゅぎょう かいすう 授業の回数	じかん すう 時間数	がくねん じき 学年・時期	ひつしゅう せんたく 必修・選択																		
かい 8回	15	ねん つうねん 1年・通年	ひつしゅう 必修																		
<p>じゅぎょう もくてき [授業の目的・ねらい] かいごしよく もと きほん てき せつぐう しゅうとく しんらいかんけいこうちく めざ 介護職に求められる基本的な接遇(マナー)を修得し、信頼関係構築を目指す</p> <p>じゅぎょうしゅうりょうじ たっせい かだい とうたつもくひょう [授業終了時の達成課題(到達目標)] きほん てき せつぐう じっせん 基本的な接遇(マナー)が実践できる</p> <p>じゅぎょう についで かくかい ないよう じゅぎょうほうほう 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>かい 回</th> <th>ないよう びこう 内容・備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>せつぐう 接遇(マナー)とは</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>せつぐう 接遇(マナー)を身につけるメリット</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>せつぐう 接遇(マナー)の原則①</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>せつぐう 接遇(マナー)の原則②</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>せつぐう 接遇(マナー)の留意点</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ロールプレイ①</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ロールプレイ②</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>まとめ</td> </tr> </tbody> </table>				かい 回	ないよう びこう 内容・備考	1	せつぐう 接遇(マナー)とは	2	せつぐう 接遇(マナー)を身につけるメリット	3	せつぐう 接遇(マナー)の原則①	4	せつぐう 接遇(マナー)の原則②	5	せつぐう 接遇(マナー)の留意点	6	ロールプレイ①	7	ロールプレイ②	8	まとめ
かい 回	ないよう びこう 内容・備考																				
1	せつぐう 接遇(マナー)とは																				
2	せつぐう 接遇(マナー)を身につけるメリット																				
3	せつぐう 接遇(マナー)の原則①																				
4	せつぐう 接遇(マナー)の原則②																				
5	せつぐう 接遇(マナー)の留意点																				
6	ロールプレイ①																				
7	ロールプレイ②																				
8	まとめ																				
しょう きんこう ぶんけん [使用テキスト・参考文献] はいふしりょう とう ●配布資料等		たんにんてい ほうほうおよ きじゆん [単位認定の方法及び基準] かだい くわ しゅつけつせき じゅぎょうたいど そうごうてき 課題レポートに加え、出欠席、授業態度を総合的に はんだん てんちゆう てんいじょう かくとく ごうかくきじゆん 判断。100点中60点以上獲得を合格基準とする。																			

授 業 概 要																																			
健康プロモEX	授業の種類	授業担当者	実務経験の有無																																
	講 義	伊藤佳啓	無																																
授業の回数	時間数	学年・時期	必修・選択																																
15回	30	ねん 1年・通年	必修																																
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>健康増進、認知症予防に向けた活動等支援を根拠を持って行動できる知識・技術を修得する</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <p>修得した知識・技術から目的・根拠を持った個別の余暇活動支援ができる</p> <p>授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容・備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ファンクションメソッドとは</td></tr> <tr><td>2</td><td>ファンクションメソッドの理論①</td></tr> <tr><td>3</td><td>ファンクションメソッドの理論②</td></tr> <tr><td>4</td><td>健康プロモーション演習①</td></tr> <tr><td>5</td><td>健康プロモーション演習②</td></tr> <tr><td>6</td><td>健康プロモーション演習③</td></tr> <tr><td>7</td><td>健康プロモーション演習④</td></tr> <tr><td>8</td><td>健康プロモーション演習⑤</td></tr> <tr><td>9</td><td>総合演習①</td></tr> <tr><td>10</td><td>総合演習②</td></tr> <tr><td>11</td><td>総合演習③</td></tr> <tr><td>12</td><td>総合演習④</td></tr> <tr><td>13</td><td>総合演習⑤</td></tr> <tr><td>14</td><td>総合演習⑥</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td></tr> </tbody> </table>				回	内容・備考	1	ファンクションメソッドとは	2	ファンクションメソッドの理論①	3	ファンクションメソッドの理論②	4	健康プロモーション演習①	5	健康プロモーション演習②	6	健康プロモーション演習③	7	健康プロモーション演習④	8	健康プロモーション演習⑤	9	総合演習①	10	総合演習②	11	総合演習③	12	総合演習④	13	総合演習⑤	14	総合演習⑥	15	まとめ
回	内容・備考																																		
1	ファンクションメソッドとは																																		
2	ファンクションメソッドの理論①																																		
3	ファンクションメソッドの理論②																																		
4	健康プロモーション演習①																																		
5	健康プロモーション演習②																																		
6	健康プロモーション演習③																																		
7	健康プロモーション演習④																																		
8	健康プロモーション演習⑤																																		
9	総合演習①																																		
10	総合演習②																																		
11	総合演習③																																		
12	総合演習④																																		
13	総合演習⑤																																		
14	総合演習⑥																																		
15	まとめ																																		
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>●配布資料等</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>課題レポートに加え、出欠席、授業態度を総合的に判断。100点中60点以上獲得を合格基準とする。</p>																																	